

万が一の事故に備えて

普通救命講習会

明和海洋センターでは4月15日、明和分署の協力を得て海洋センター関係の職員を対象に普通救命講習会が行われました。

この講習会は、万が一の事故でも職員がすぐに対応できるように毎年行っているもので、参加者15人は、心肺蘇生法の改正部分を中心に、実際にダミーを使って意識確認から心臓マッサージまでの手順を学びました。

分署職員は、「人工呼吸ができない時は、蘇生する確率が上がるので心臓マッサージだけでも行ってください」と強調しました。



ダミーを使って心臓マッサージを行う職員

痴呆の早期発見のために

痴呆予防講演会



後出しジャンケンで頭の体操

町では、痴呆の早期発見のために14年度から基本健診にあわせて、60歳以上のかたを対象に物忘れ健診を行うことになり、それに先がけて5月9日、老人福祉センターで講演会を開きました。

講師に群馬県こころの健康センター所長の宮永和夫さんを迎え、「痴呆の予防について・物忘れ検診のすすめ」をテーマに講演。会場に詰めかけた約200人は、メモをとり熱心に聞いていました。宮永さんは「痴呆の予防は、血液の流れをよくする食物や水分を多く取ることが大切」と述べました。

歌でこころのふれあいを

老人福祉センターカラオケ大会

5月23日、老人福祉センターカラオケ大会が開かれました。この大会は参加者のふれあいを図り、心の通う「福祉の町づくり」を目的に毎年開催されています。

29人の出演者は、老人クラブ会員など226人の観客の前で熱唱。今回の優勝は大佐賞の石村美喜雄さん、準優勝は新里の吉田修一さん、第3位は千津井の松本文子さん。石村さんは「今回の曲『橋』を始めたのは孫からプレゼントされたから。優勝とは思ってもみなかったのだけど本当にありがたいです」と話していました。



左から吉田さん、石村さん、松本さん

春の訪れ祝うバラのお風呂

デイサービスセンター薬湯



気分は最高！

デイサービスセンターでは、毎月26日（フロの日）に季節の花などを使い薬湯を行っています。

4月は、蓮見バラ園（斗合田）のご厚意により寄付されたバラの花をお湯に浮かべ、春の訪れを祝うバラのお風呂を楽しみました。

バラはその香りの良さから、神経をリラックスさせる効果があるといわれ、この日薬湯に入ったお年寄りは、「こういうお風呂は初めてなので、気分は最高です。心身ともに温まりました」と、色とりどりのバラのお風呂に心をなごませていました。